

抗議と苦情の
電話をしよう!

厚木爆同

【発行】
厚木基地爆音防止期成同盟
発行責任者 石郷岡 忠男
事務所 大和市桜森3-5-3
フロント1F
TEL 046-240-7450
FAX 046-261-5615
bakudou@kanagawa.email.ne.jp



12月1日横浜地裁追加提訴

あつと言う間に、一年が過ぎようとしています。思い起こせば一年前、あの腹立たしい最高裁判決が出されました。ようやくつかんだ私たちの夢が、横浜地裁、東京高裁で認められ、飛行差し止めが現実となるはずでした。最高裁判決後の報告集会で第四次原告の金子団長が、この判決は最高裁判事が「まだまだ努力が足りない。もっと頑張れ」と出した判決であり、それならば、今日この時から次の準備をしようと言っていて、第五次訴訟が始まりました。厚木爆同は、準備段階から全面協力を約束し、今日までやってきました。最初に行ったのは、全爆同会員に原告募集の案内を出すことから始めまし

12・1 第五次厚木基地爆音訴訟・追加提訴行っ!

原告団八千名を超える!

厚木基地爆音防止期成同盟
委員長 石郷岡 忠男

た。おかげ様で一回目の横浜地裁提訴で(2017・8・4)六千人が原告参加、そして2017年12月1日、二回目の地裁提訴を行いました。一回目、二回目を合わせて八千人を超える原告で闘いを進めることになりました。これは、過去第四次に渡って行われた厚木基地における裁判史上最大の訴訟となったのです。私たちは過去最大の訴訟になったからもう良いとは決して思っておりません。国や裁判所に圧力をかけるため、私たちは、一人でも二人でも多くの原告を集めなければいけないと考えています。第五次訴訟の原告募集は現在も続いています。爆同会員でまだ原告になっていない方は、すぐに申し込んで下さい。また、すでに原告になっている方は、隣人、親戚、知人、友人の方々に声をかけて、こういう裁判を行っているよとお話し下さい。厚木爆同は、訴訟だけ行っている訳ではありません。最新のニュースで米原子力空母ロナルド・レーガン艦載機の山口県岩国基地移駐が話題になっていきます。今後の情報に注目していききたいと思います。もうひとつ米軍輸送機オスプレイが、米原子力空母の艦載機になる可能性があるということです。あの危険なオスプレイが艦載機になれば、



11月29日オスプレイ飛来中止申し入れ厚木基地

厚木基地に常に居るといふ事になります。この事にも充分注視しながら運動をすすめていきたいと思えます。会員の皆様の増々のがんばりを期待しております。
新年を迎えるにあたり、来年も元氣よく、様々な運動に取り組んで参りますので、尚一層のご協力をお願い致します。

11・28 オスプレイ厚木基地飛来監視行動および

11・29 飛来中止を求める申し入れを行う!

在日米海軍厚木航空施設司令官(ロイド・B・マック大佐)宛に、11月29日厚木爆同、厚木基地爆音

訴訟団・県央共闘会議、神奈川平和運動センターの四者で、オスプレイの飛来中止を求める申し入れをしました。以下、申し入れ内容です。

- 1 11月22日に発生した空母連絡機C2の墜落事故について、詳細な経過を説明するとともに、原因を早急に調査し報告するよう米軍に伝えること。
- 2 C2の代替を含めて、オスプレイの市街地での飛行を行わないよう米軍に伝えること。
- 3 普天間基地に配備されているオスプレイを撤去するよう米海兵隊に進言すること。
- 4 空母艦載機の飛行が、住民に多大な被害を与えていることを米海軍司令部に伝え、住宅密集地に基地を置くことができないということについて、上層部に理解を得るよう努力すること。



11月28日厚木基地オスプレイ飛来・艦載機監視行動

たつては前もって自治体、住民に伝え、その意見を聞くようにすること。これは木更津での整備テスト飛行についても同様です。

- 4 空母艦載機の飛行が、住民に多大な被害を与えていることを基地司令部に伝え、住宅密集地に基地を置くことができないということに理解を得るよう努力すること。

厚木爆同新会員 歓迎会を開催します

日時 2018年1月28日(日)
午前10時
会場 厚木爆同事務所
参加 2017年入会の会員
新会員の皆様には後日、ご案内します。
内容 学習会と交流会

NHK受信料全額免除を 総務省と防衛省に求める!

私たちは、厚木基地を離着陸する航空機の爆音によってテレビの音がかき消され、まともな放送サービスが受けられていません。爆音被害地域(難視聴地域)のNHK受信料を国(爆音の加害者)が、全額免除すべきと考え、受信料の支払い凍結(不払い)を通じて、国の加害者責任を問う運動をしています。

今年も10月26日に「厚木基地周辺のNHK受信料の全額免除を求め、総務省と防衛省に要請」を行い、①航空機爆音が解消されるまでの間、住宅防音工事の対象区域としている75W値以上の

コンタナー内に住んでいる住民のNHK受信料を全額免除するよう求めました。②NHK放送受信料の補助制度があっても爆音が続く限り放送を楽しむことができないため、国とNHKは難視聴地域の解消に責任を負っていることから、激しい爆音にみまわれテレビの音が聞こえないなどの深刻な状況を解消させるため、関係機関(省庁間の連携と取り組み)に働きかけ、航空機爆音の解消に積極的に取り組むよう求めました。

また10月31日には、NHK横浜放送局かながわ西営業センターを訪ね「NHK

支部から ごんにちは!

大和中支部

副支部長
森 謙治

この文章を書いている11月末の夜、また、厚木基地に艦載機が飛来しました。11月24日に「空母ロナルドレーガンの艦載機が岩国へ飛来」という報道がありました。今回は艦載機が厚木基地には来ないのか、と思いきややっぱり厚木基地にも飛来しました。しかもさらに悪いことには、空母と厚木基地の間の人員等の輸送を担っていたC2輸送機が墜落し、その代わりにオスプレイが使われたことです。それから1週間、欠陥機と言われているオスプレイはこ

こ数日2機ずつ住宅地の上を飛んで動を進めていきたくと思っています。

いるのを我が家からも見えました。

そんな状況の中で支部役員が肝に銘じていることがあります。「オスプレイの何が問題なのか?」、「NHK放送受信料の督促にはどう対処すればいいの?」、「厚木基地の艦載機の岩国移駐後の状況はどうなるの?」

厚木爆同では、この秋以降、「基地視察」、「NHK放送受信料の学習」、「This is オスプレイの上映」と行事を行っています。私たちは支部役員は回りの会員の方たちを誘って積極的に行事に参加するとともに、学習を深めて各会員の不安に向き合っています。そして何

K受信料に関する要請書」を提出し意見交換を行いました。要請内容は、NHKが委託した訪問員は、脅迫めいた態度での訪問が増加しており、特に高齢者や一人暮らし、女性に対しての激しい言葉づかいなどによるトラブルが多発していることから、訪問員の教育指導を徹底されるとともにトラブルの再発防止の指導に取り組むよう強く要請しました。

さらに12月3日には、会員間にNHK受信料の裁判報道などに不安の声があることから、弁護士による「NHK受信料問題の学習会」も開催しました。

最高裁判決に怯むことなく 訪問員には毅然と対応しよう

すでに配布しております受信料問題のパンフレットQ&A爆音がなくなるまではNHK受信料を払えませぬ!」を再度お読み頂き、先のNHK最高裁判決に怯むことなく訪問員には毅然とした態度で対応するとともに、訪問員に脅迫されたり強要された時は、訪問員の名前を必ず確認し、厚木爆同事務所にまたは支部長や班長さんに連絡してください。また、訪問員から書類にサインを求められても絶対に記入しない



10月26日NHK受信料問題対政府交渉

ことや少額でも支払いをしないことが大事です。さらに、「訪問員の多数回訪問や電話連絡、NHK対応窓口変更通知、受信料特別対策センターが窓口となる通知」などの前兆があったら、個人で解決せずに厚木爆同事務所には必ず連絡してください。

最後に、去る12月7日最高裁においてNHK受信料の未契約者に対する新しい判断がありましたので、現在検討しており、あらためて報告します。

◆パンフレットが再度必要な方は、事務所までご連絡下さい。

厚木爆同事務所

☎046-240-7450

10月18日 厚木爆同「基地視察」を行う!

今年度の「基地視察」は、さる10月18日に墜落事故の不安に悩まされている米軍垂直離着陸輸送機MV22オスプレイと、陸上自衛隊が購入を決めたV22オスプレイの定期整備の拠点基地となった「陸上自衛隊木更津駐屯地」を視察するとともに、日本の過去の戦争、現在の武力紛争や、私たちの平和的な生活を脅かす、環境破壊、貧困、差別などを展示している「川崎市平和館」を見学、更には米軍の港湾基地で後方支援の補給基地として、物資や軍車などの搬出入を行っている「横浜ノースドック」などを38名の参加者で基地ウォッチングを行いました。

参加者からの感想をご紹介します。(一部抜粋です。)

「木更津基地を見学して思ったこと。オスプレイ自体、事故が多く安全性が疑われているのに、同じ空を民間機が飛行するところに配備するなんて信じ



10月19日横浜ノースドックを臨む
「国民の安全を守る!!」と叫ぶ
「厚木爆同」のみなさんが、本場に守ろうとしてい
るのかと腹が立ち

ます。」(大和中支部Aさん)

「:今回は初めて、特に川崎市平和館の内容の充実した展示と感じました。個人的にも訪れたいと思います。CH-47もオスプレイもその意味するものがよく分かりました。:知識が深まれば深まる程にあちこちに米軍の施設や影響を感じます。まだまだ占領されたままですね。」(藤沢支部Bさん)

「:横浜ノースドックは、横浜みなとみらい地区に何度も訪れていましたが、対岸に軍事施設があることをはじめて知りました。以前の視察で横須賀など大きな施設は回っていたのですが、このような施設が点在していることを学べたこと、これからの自分の活動にとってプラスになりました。本や紙面での資料パソコン閲覧だけでは分からないものが伝わってきました。」(大和第一支部 Cさん)

計 報

厚木爆同町田支部副支部長の本原義之さん(満77歳)が、11月14日永眠されました。

長い間の厚木爆同運動へのご貢献に感謝し、お悔やみ申し上げます。